



挨拶と笑顔

今年のカレンダーも残り2枚となり、通りの木々もやっと色づき次第に深まりゆく秋を感じるこの頃です。無縁社会が静かに確実に広まりつつあると懸念されている世の中です。そんな中、彩花はお客様との関係を深めて行き、人とのつながりを大切に仕事をさせていただいております。「挨拶は心と心をつなぐ金の鎖」という表現がありますように「自分からハッキリと」を意識した挨拶でより良い人間関係を築いていきたいと思っています。



今日という日

多くの人が慌ただしい毎日を過ごしています、あなたはどうか？過去の失敗にいつまでもこだわり、将来のことに不安になる・・・私たちの頭の中には、過去6割、未来2割のことが占めていると言われています。過去の後悔と未来の不安を合わせて全体の8割。こんなにいつも過去と未来に振り回されていたら、現在、つまり今日のことはどうなるのでしょうか？過去・未来コンプレックス、この病気にかかっている人はなんと多いことでしょうか。思い出の中に生きたり、未来に気を取らせすぎたり、そんなことで1日が終わってないでしょうか？何よりも大切な今日をおろそかにして、過去や未来のことを考えることはまさに本末転倒、実におかしなことです、何よりも今日を生きるのです。ただ単に肉体が物理的に存在していることが生きるということではありません。自分の能力を正しく認識し、明確な目標を定め毎日クリエイティブに過ごす、これが生きるということなのです。明日というのは今日という日の延長線上にある新しい今日なのです。今日を抜きにして明日を考えてもそれは無意味なのです。今日という日、今この瞬間をクリエイティブに生きましょう。たった今からあなたもこの一瞬一瞬を大切に、今日という日を精一杯生きようではありませんか。

御用聞き精神

エアコンキャンペーンが終わり、動きが静かになりました。彩花新聞を持ってお客さまを訪問しています。この訪問で何でもいいから1つ気づき、情報を見つけてコミュニケーションを図っています。お客様のお役にたてることを見つけ、要望に柔軟に対応できればと思っています。その結果、それなりに効果が出ていると感じます。お掃除に対してあまり興味がなかったお客さまが訪問することで意識を高められて興味を示された結果もあります。また、別の仕事を頂いたり、お知り合いのお店を紹介して頂いたりこの訪問がすごい付加価値を作っているようです。昔から言うように商いは、足を使った「御用聞き精神」が大事とつくづく感じます。このことをやっていたら、小さな中小企業も大手にかなわないことが出来るのではと思います。これからもどんどん足を運んでお客様との絆を深めて行きたいと思っています。



メモの力

読書によって心を打たれる言葉に出会ったとき、手帳にメモする時があります。ただ、単にメモすればいいわけではありません。書くという行為は「想像」として強力なものがありますから、強い気持ちで書くようにつとめることが大切です。これは書くという行為が、潜在意識に強く働きかける効果があるからです。どんなに忙しい人でも、毎日二分間ぐらいはメモする時間は出来ると思います。毎日、手帳に1, 2行書いたとして1週間で1ページになります。1年間続ければ手帳の1冊は信念や情報、忍耐力を強める言葉で埋まります。そしてこの手帳をいつもポケットに忍ばせ、メモで目にする情報をアイデアに変えたり心を込めて繰り返し目にしたり読んだりすれば、本当の自分を見つめ直すこともできます。夢をかなえることもできるかもしれません。インプットしたらアウトプットが大事ということでしょう。



毎日忙しい、お掃除ができない、なかなか綺麗にならない、高齢のためお掃除ができない。



綺麗にしたい。それならすぐに彩花へ相談してみたら。

お問い合わせ・お見積もりは、お気軽に！

0120-400-225

<http://www.c-saika.jp/>



インターネットでお得な情報をGET!



あなたの家のお掃除隊

クリーン彩花

福岡市早良区賀茂2丁目5-35-2号

「二十四節気」の知恵

■暦の上では「霜降」

「霜降（そうこう）」。

中国・日本の伝統暦である「二十四節気」において

10月23日頃のことを指します。この頃から霜が降り始め、冬が近づいていることを告げるとされています。

一方で天気予報をみると、今年は11月3～4日まで、

最高気温が25度以上の夏日が続きます。秋がギュッと圧縮され、夏と冬が混ざり合うかのようです。朝晩と日中の寒暖差を大きく感じる日が増え、体調管理に気をつけ風邪を引かないよう気をつけたいといけなと思う今日この頃です。気候変動への適応力を高めるとともに、バイオリズムを上手に整え、免疫力を高めていくことが、これまで以上に求められています。

冬		秋		夏		春	
冬至 とうじ 12月22日頃	立冬 りゅうとう 11月7日頃	秋分 しゅうぶん 9月23日頃	立秋 りゅうしゅう 8月8日頃	夏至 げし 6月21日頃	立夏 りゅうか 5月6日頃	春分 しゅんぶん 3月21日頃	立春 りゅうしゅん 2月4日頃
小寒 しょうかん 1月5日頃	小雪 しょうせう 11月22日頃	寒露 かんろう 10月8日頃	処暑 しよしよ 8月23日頃	小暑 しょうしよ 7月7日頃	小満 しょうまん 5月21日頃	清明 せいめい 4月5日頃	雨水 うずい 2月19日頃
大寒 たいかん 1月20日頃	大雪 たいせう 12月7日頃	霜降 そうこう 10月23日頃	白露 はくろう 9月8日頃	大暑 たいしよ 7月23日頃	芒種 ぼうしゅ 6月6日頃	穀雨 こくう 4月20日頃	啓蟄 けいち 3月6日頃

■今も生きている二十四節気

二十四節気は「一太陽年を春夏秋冬の4つの季節に分け、さらにそれぞれを6つに分けた伝統の暦」です。そこには暦の上に24の点を設定し、自然の変化や季節の移りかわりを細かく区分し、自然の変化を先取りした準備をしようという知恵が込められています。立春、立夏、立秋、立冬という変わり目を基点に春夏秋冬を分け、穀雨、芒種、大暑、白露、霜降、大雪、大寒と順繰りで節気がやってきます。漢字を見るだけで季節感がそれとなく伝わってくるから不思議です。いにしえ人は節気を念頭に農作業の予定をたて、季節変化にあわせて生活の準備をしようとしたのです。じつは2016年のこと、「二十四節気は太陽の一年間の運動を観察し、一年の旬、気候、生物気象などの変化の法則を把握するために形成した知識システムと社会の実践活動」という理由で中国政府がユネスコに申請し、二十四節気は世界無形文化遺産に登録されています。

季節感が乏しくなった現代人にとって二十四節気は身体のリズムを整え、健康について考え、生活にメリハリをつけるきっかけとして積極活用しようというならよさそうです。アジアに受け継がれる東洋医学の世界です。

■商いも季節と共にも

霜降がまさにそうですが「お、もうそんな季節か～」と気づかされます。この気づきをもとに、季節を少しでも先取りして、霜降を早めに冬支度を始めるサイン（合図）として捉えていくと、その知恵は商いにも生かすことができそうです。和菓子の世界では二十四節気を意識した商品が静かなブームとなっていますし、スターバックスも季節に合わせた新作フラペチーノを発売して人気を集め、世界最大の化粧品会社ロレアルが二十四節気の知恵からインスピレーションを得てブランドを立ち上げたりと話題に事欠きません。

温暖化の影響で体調をくずし、暮らしのリズムに変調をきたしがちな現代人。二十四節気の知恵を活かし季節感に訴える商品やサービスの展開によって、お客様に新しい価値体験を提案したり、生活の彩りを提供したりという機会をいろいろ創出していけそうです。例えば、ハウスクリーニングで「冬パック」のサービスを企画したらどうでしょうか。クリーニングのあと、「冬到来に向け、これを飲んで免疫力を高めてください」とうことで「冬紅茶」をプレゼントされたりしたら誰しも嬉しくなり、季節感を取り戻すきっかけとして喜ばれると思います。

■自然のリズムに沿った暮らし

温暖化の影響もあり、二十四節気の暦上の進行と実際の気候変化は“ズレ”があるのは否めません。けれども季節変化にあわせて、自然のリズムに沿った生活を取り戻すうえで、二十四節気のもつ意味は現代社会だからこそ大きいと言えそうです。単なる懐古趣味ではなく、現代文明や生活様式と調和させながら、持続可能な形で季節感を取り戻し、一年一年を重ねていく「二十四節気スタイル」を展開していきたいものです。（らく）